

会長講演 (Presidential Lecture)

5月27日(土) 13:30-14:00 第1会場 (Room 1)

座長：安倍 正博 (Masahiro Abe) (社会医療法人川島病院 血液内科)

PL 新たな視点から病態を見つめて、限界の打破を目指した創薬研究
Drug discovery for myeloma from new perspectives of pathophysiology

服部 豊 (Yutaka Hattori)^{1,2}

¹慶應義塾大学大学院薬学研究科 病態生理学講座、²東京都済生会中央病院 血液内科

特別講演 1 (Special Lecture 1)

5月27日(土) 15:10-16:20 第1会場 (Room 1)

ポストゲノム時代のバイオロジー cutting edge

Cutting edge of biology in post-genome era

座長：服部 豊 (Yutaka Hattori) (慶應義塾大学大学院薬学研究科 病態生理学講座/東京都済生会中央病院 血液内科)
黒川 峰夫 (Mineo Kurokawa) (東京大学 血液・腫瘍内科)

SL1-1 リンパ増殖疾患における細胞外小細胞の機能
Function of extracellular vesicles in lymphoproliferative disease

幸谷 愛 (Ai Kotani)

東海大学医学部 先端医療科学

SL1-2 オートファジーによる細胞内品質管理
Intracellular quality control by autophagy

水島 昇 (Noboru Mizushima)

東京大学大学院医学系研究科 分子生物学分野

特別講演 2 (Special Lecture 2)

5月28日(日) 13:50-15:00 第1会場 (Room 1)

COVID-19 診療の最新情報

Up-to-date of COVID-19 clinics

座長：半田 寛 (Hiroshi Handa) (群馬大学大学院医学系研究科 血液内科学分野)
菊池 隆秀 (Takahide Kikuchi) (東京都済生会中央病院)

SL2-1 COVID-19 診療の現状と今後の展望 Current status and future prospects of COVID-19 treatment

大曲 貴夫 (Norio Ohmagari)
国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター

SL2-2 長引くコロナ禍における血液疾患診療の極意 Management of patients with hematological disorders in the prolonged COVID-19 pandemic

萩原 政夫 (Masao Hagihara)
永寿総合病院 血液内科

シンポジウム 1 (Symposium 1)

5月27日(土) 9:00-10:15 第1会場 (Room 1)

骨髄腫治療の限界の打破を目指して 免疫療法の新展開

New developments of immunotherapy

座長：今井 陽一 (Yoichi Imai) (獨協医科大学 内科学 (血液・腫瘍))
松下 麻衣子 (Maiko Matsushita) (慶應義塾大学大学院薬学研究科 病態生理学講座)

SY1-1 多発性骨髄腫の免疫療法—既存抗体の作用メカニズム・治療成績から CAR-T 細胞療法、bispecific antibody の現状・開発状況まで From basic and clinical studies of monoclonal antibodies for MM to the current and future status of therapy of CAR-T cell and bispecific antibodies

今井 陽一 (Yoichi Imai)
獨協医科大学 内科学 (血液・腫瘍)

SY1-2 骨髄腫に対する二重特異性抗体療法 Recent Advances of Bispecific Antibody Therapy for Myeloma

越智 俊元 (Toshiki Ochi)^{1,2}
¹ 愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学講座、
² 愛媛大学プロテオサイエンスセンター 免疫制御学部門

SY1-3 多発性骨髄腫の治癒を目指した免疫療法 Cancer immunotherapy to cure patients with multiple myeloma

籠谷 勇紀 (Yuki Kagoya)
慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 がん免疫研究部門

シンポジウム 2 (Symposium 2)

5月27日(土) 14:10-15:00 第1会場 (Room 1)

ハイリスク骨髄腫の分子病態と治療

Molecular pathogenesis and treatment of high-risk myeloma

座長：坂井 晃 (Akira Sakai) (福島県立医科大学医学部 放射線生命科学講座)
高松 泰 (Yasushi Takamatsu) (福岡大学医学部 腫瘍血液感染症内科学)

SY2-1 Genomic risk in multiple myeloma

Hervé Avet-Loiseau

IUC-ONCOPOLE, France

SY2-2 ハイリスク染色体異常を持つ骨髄腫の分子病態と治療アプローチ

Molecular pathogenesis and treatment approach of myeloma with high-risk cytogenetics

花村 一郎 (Ichiro Hanamura)

愛知医科大学 内科学講座 血液内科

シンポジウム 3 (Symposium 3)

5月28日(日) 9:00-10:05 第1会場 (Room 1)

International symposium: Progress in myeloma therapy: current status and future perspective

座長：小杉 浩史 (Hiroshi Kosugi) (大垣市民病院 血液内科)
石田 禎夫 (Tadao Ishida) (日本赤十字社医療センター 血液内科)

SY3-1 Progress in myeloma therapy: current status and future perspective

Nikhil C. Munshi

Dana-Farber Cancer Institute, Harvard Medical School

SY3-2 Progress in Myeloma Therapy: Current Status and Future Perspectives

Daryl Tan

Mount Elizabeth Novena Hospital, Singapore

SY3-3 骨髄腫治療の進歩：日本の現状と将来展望

Progress in myeloma therapy: current status and future perspective in Japan

飯田 真介 (Shinsuke Iida)

名古屋市立大学医薬学総合研究院 血液・腫瘍内科学分野

シンポジウム 4 (Symposium 4)

5月28日(日) 11:15-12:05 第1会場 (Room 1)

骨髄腫患者の内科的マネジメント

General management of myeloma patients

座長：照井 康仁 (Yasuhito Terui) (埼玉医科大学病院 血液内科)

李 政樹 (Masaki Ri) (名古屋市立大学病院 輸血・細胞療法部/血液・腫瘍内科)

SY4-1 骨髄腫患者のマネジメント～腫瘍循環器の視点から

Management of Multiple Myeloma Patients: From a Viewpoint of Onco-Cardiology

赤澤 宏 (Hiroshi Akazawa)

東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学

SY4-2 骨髄腫・MGRSにおける腎障害のマネジメント

Management of myeloma kidney and monoclonal gammopathy of renal significance

水野 真一 (Shinichi Mizuno)

JCHO 仙台病院 腎センター

プレナリーセッション (Plenary Session)

5月28日(日) 15:10-16:15 第1会場 (Room 1)

座長：安倍 正博 (Masahiro Abe) (社会医療法人川島病院 血液内科)

中世古 知昭 (Chiaki Nakaseko) (国際医療福祉大学医学部 血液内科)

PS-1 多発性骨髄腫での M-MDSC 誘導における腫瘍由来エクソソームを介した miR-106a-5p と miR-146a-5p の役割

The functional roles of miR-106a-5p and miR-146a-5p transferred by tumor-derived exosome in the induction of M-MDSCs in multiple myeloma

水原 健太郎 (Kentaro Mizuhara)¹、志村 勇司¹、塚本 拓¹、金井 昭教^{2,3}、太田 沙絵子⁴、山口 順子⁵、村松 彩子¹、岡本 明也¹、民西 葉子¹、金山 悠加¹、伊佐 怜子¹、水谷 信介¹、稲葉 俊哉²、黒田 純也¹

¹ 京都府立医科大学 血液内科、² 広島大学 原爆放射線医学科学研究所、³ 東京大学 新領域メディカル情報生命専攻、⁴ 京都鞍馬口医療センター 血液内科、⁵ 京都第二赤十字病院 血液内科

PS-2 RSK/AKT/S6K トリプル阻害剤 TAS0612 の抗骨髄腫効果

The anti-myeloma efficacy of TAS0612, a triple inhibitor for RSK, AKT, and S6K

岡本 明也 (Haruya Okamoto)、伊佐 怜子、村松 彩子、水原 健太郎、民西 (桂川) 葉子、金山 (川路) 悠加、藤野 貴大、塚本 拓、水谷 信介、志村 勇司、黒田 純也

京都府立医科大学 血液内科

PS-3 骨髄腫細胞の内在的および外因子による BCMA 発現制御機構

Intrinsic and extrinsic regulation of BCMA expression in myeloma cells

井上 雄介 (Yusuke Inoue)¹、原田 武志¹、小田 明日香¹、住谷 龍平¹、大浦 雅博¹、
曾我部 公子²、丸橋 朋子¹、高橋 真美子²、藤井 志朗²、中村 信元³、三木 浩和⁴、安倍 正博¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学、²徳島大学病院 血液内科、
³徳島大学大学院医歯薬学研究部 実践地域診療・医科学分野、⁴徳島大学病院 輸血・細胞治療部

PS-4 t(4;14) 陽性多発性骨髄腫に対して細胞毒性を有する 第一世代MMSET 阻害剤の創出

Discovery of a first-in class inhibitor for histone lysine methyltransferase MMSET, which confers cytotoxicity to t(4;14)-positive multiple myeloma

松岡 紗恵 (Sae Matsuoka)¹、菊池 次郎¹、長田 直希¹、古川 雄祐¹、小山 裕雄²、窪田 浩一²、
喜久里 貢²、梅原 崇史³、佐藤 心³

¹自治医科大学 分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部、
²理化学研究所 環境資源科学研究センター 創薬化学基盤ユニット、
³理化学研究所 生命機能科学研究センター エピジェネティクス制御研究チーム

PS-5 骨髄腫の進展における可溶性SLAMF7による炎症惹起の役割

The role of soluble SLAMF7-mediated inflammation in myeloma progression

原田 武志 (Takeshi Harada)¹、住谷 龍平¹、原 倫世¹、井上 雄介¹、中上 絵美子²、天真 寛文²、
小田 明日香¹、大浦 雅博¹、曾我部 公子³、丸橋 朋子¹、高橋 真美子³、藤井 志朗³、
中村 信元⁴、三木 浩和⁵、日浅 雅博²、寺町 順平⁶、菊池 次郎⁷、古川 雄祐⁷、安倍 正博¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学分野、
²徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面矯正学分野、³徳島大学病院 血液内科、
⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部 実践地域診療・医科学分野、⁵徳島大学病院 輸血・細胞治療部、
⁶岡山大学学術研究院医歯薬学域 口腔機能解剖学分野、
⁷自治医科大学 分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部

教育講演 1 (Educational Lecture 1)

5月27日(土) 11:20-11:50 第1会場 (Room 1)

座長：尾崎 修治 (Shuji Ozaki) (徳島県立中央病院 血液内科)

EL1 新規ガイドラインに基づいた骨髄腫の治療

Management for multiple myeloma based on updated guidelines

伊藤 薫樹 (Shigeki Ito)

岩手医科大学医学部 内科学講座 血液腫瘍内科分野

教育講演 2 (Educational Lecture 2)

5月28日(日) 13:15-13:45 第1会場 (Room 1)

座長：服部 豊 (Yutaka Hattori) (慶應義塾大学大学院薬学研究科 病態生理学講座/東京都済生会中央病院 血液内科)
橋本 浩伸 (Hironobu Hashimoto) (国立がん研究センター中央病院)

EL2 骨髄腫の薬物治療の留意点～薬物動態と薬物相互作用の視点から～

Pharmacokinetic aspects of drugs used for the treatment of myeloma

大谷 壽一 (Hisakazu Ohtani)

慶應義塾大学医学部 病院薬剤学教室

一般口演 1 (Oral Session 1)

5月27日(土) 9:00-10:05 第2会場 (Room 2)

初発未治療治療 (移植適応/非適応)

NDMM Treatment-Transplant eligible/ineligible

座長：山本 豪 (Go Yamamoto) (虎の門病院 血液内科)

- 01-1 移植不適応の多発性骨髄腫患者において治療前の循環形質細胞および総腫瘍代謝量はリスク層別化を改善する

Pretreatment circulating plasma cells and total lesion glycolysis improve risk stratification in patients with transplant-ineligible multiple myeloma

池田 大輔 (Daisuke Ikeda)¹、寺尾 俊紀²、福本 亜美¹、上杉 由香¹、田畑 里佳子¹、三浦 大典¹、成田 健太郎¹、竹内 正美¹、末永 孝生¹

¹ 亀田総合病院 血液・腫瘍内科、² 岡山大学病院 血液・腫瘍内科

- 01-2 1q21 gain を有する未治療多発性骨髄腫の患者に対するダラツムマブの有効性
The efficacy of daratumumab in newly diagnosed multiple myeloma (NDMM) patients with 1q21 gain

入内島 裕乃 (Hirono Iriuchishima)¹、斉藤 明生¹、三原 正大¹、寺崎 幸恵¹、松本 彬¹、磯田 淳²、古川 雄祐³、松本 守生¹

¹ 渋川医療センター 血液内科、² 星医院、³ 自治医科大学 分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部

- 01-3 VRD 導入と移植の有無の治療成績 - 関西骨髄腫フォーラム後方視的研究 -
Outcomes of VRD induction followed by ASCT or not - Kansai Myeloma Forum retrospective analysis -

高桑 輝人 (Teruhito Takakuwa)¹、吉原 哲²、吉岡 聡³、堀田 雅章⁴、志村 勇司⁵、諫田 淳也⁶、淵田 真一⁷、魚嶋 伸彦⁸、太田 健介⁹、小杉 智¹⁰、福島 健太郎¹¹、田中 宏和¹²、柴山 浩彦¹³、伊藤 量基⁴、黒田 純也⁵、高折 晃史⁶、島崎 千尋⁷、保仙 直毅¹¹、松村 到¹²、日野 雅之¹

¹ 大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学、² 兵庫医科大学 内科学講座 血液内科、³ 大阪赤十字病院 血液内科、⁴ 関西医科大学 内科学第一講座、⁵ 京都府立医科大学大学院医学研究科 血液内科、⁶ 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学、⁷ JCHO 京都鞍馬口医療センター 血液内科、⁸ 京都第二赤十字病院 血液内科、⁹ 血液内科太田クリニック・心齋橋、¹⁰ 市立豊中病院 内科 (血液内科)、¹¹ 大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科、¹² 近畿大学医学部 血液・膠原病内科、¹³ 大阪医療センター 血液内科

- 01-4 初発移植適応骨髄腫における Bortezomib 併用大量 Melphalan 療法を用いた自家末梢血幹細胞移植後の長期予後の検討

Long-term follow up of bortezomib with high-dose melphalan as conditioning regimen in newly diagnosed multiple myeloma

西山 理沙 (Risa Nishiyama)、柴山 貴宏、籠尾 壽哉、上野 博則、横山 明弘

国立病院機構東京医療センター 血液内科

- 01-5 多発性骨髄腫に対する Ixazomib 維持療法の経験：単施設の後方視的検討
Experience of Ixazomib maintenance therapy in patients with multiple myeloma: A single center retrospective analysis

淵田 真一 (Shin-ichi Fuchida)¹、太田 沙絵子¹、木元 弥生¹、初瀬 真弓¹、大井 隆広²、島崎 千尋¹

¹ JCHO 京都鞍馬口医療センター 血液内科、² JCHO 京都鞍馬口医療センター 薬剤科

一般口演 2 (Oral Session 2)

5月27日(土) 14:10-15:15 第2会場 (Room 2)

病因・病態・治療に関する基礎研究 1

Pathophysiology & Treatment (non-clinical) 1

座長：塚本 憲史 (Norifumi Tsukamoto) (群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター)

- 02-1** レパトア特異性を活用したシングルセルRNA シークエンスが明らかにする多発性骨髄腫の不均一性

Single-Cell RNA Sequencing with Repertoire Clonality Reveals the Heterogeneity of Multiple Myeloma

神谷 高博 (Takahiro Kamiya)^{1,2}、大島 基彦¹、小出 周平¹、中島 やえ子¹、青山 和正¹、糸川 直樹¹、山下 真幸¹、土岐 典子³、片岡 圭亮^{2,4}、岩間 厚志¹

¹東京大学医科学研究所 幹細胞分子医学分野、²慶應義塾大学 医学部 血液内科、³東京都立駒込病院 血液内科、⁴国立がん研究センター研究所 分子腫瘍学分野

- 02-2** 骨髄腫関連遺伝子 DIS3 は正常造血に必須である

The myeloma-related gene DIS3 is essential for normal hematopoiesis

大口 裕人 (Hirotoshi Ohguchi)¹、大口 康代¹、久保田 翔²、横溝 貴子²、荒木 喜美³、指田 吾郎²

¹熊本大学生命資源研究・支援センター 疾患エピゲノム制御分野、
²熊本大学国際先端医学研究機構 白血球転写制御学ラボラトリー、
³熊本大学生命資源研究・支援センター 疾患モデル分野

- 02-3** *Utx* 欠損によるクロマチンおよびトランスクリプトームリモデリングはマウスの骨髄腫様疾患を誘発する

Chromatin and transcriptomic remodeling by *Utx* loss and *Braf* V600E mutation induces myeloma-like disease in mice

Ola Rizq¹、三村 尚也^{2,3}、小出 周平¹、柴宮 明日香²、宮本 (長井) 友莉恵²、Mohamed Rizk¹、大島 基彦¹、百瀬 修二⁴、中島 やえ子¹、青山 和正¹、更屋 敦則⁵、堺田 恵美子²、中世古 知昭⁶、田丸 淳一⁴、本田 浩章⁷、岩間 厚志¹

¹東京大学医科学研究所 幹細胞分子医学分野、²千葉大学医学部附属病院 血液内科、
³千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部、⁴埼玉医科大学 総合医療センター 病理部、
⁵千葉大学大学院医学研究院、⁶国際医療福祉大学医学部 血液内科、⁷東京女子医科大学 疾患モデル研究分野

- 02-4** AMPD 1 阻害は骨髄腫細胞に代謝変化と細胞死を誘導する

AMPD1 inhibition induces metabolic changes and anti-tumor activity in multiple myeloma cells

河野 和 (Yawara Kawano)¹、稲田 優紀²、笹野 孝行²、串間 咲希²、西村 直¹、畑 裕之²、松岡 雅雄¹

¹熊本大学病院 血液内科、²熊本大学生命科学研究部 生体情報解析学

- 02-5** 多発性骨髄腫に対して免疫原性細胞死を誘導する天然物由来化合物の安全性と有効性の検討
Investigating the safety and efficacy of natural products that induce immunogenic cell death in multiple myeloma

藤浪 太晴 (Taisei Fujinami)¹、栗田 昂希¹、松下 麻衣子¹、市川 大樹¹、須藤 豊²、服部 豊¹

¹慶應義塾大学薬学部 病態生理学講座、²高崎福祉大学薬学部

一般口演 3 (Oral Session 3)

5月27日(土) 15:25-16:30 第2会場 (Room 2)

再発難治治療

RRMM Treatment

座長：中村 裕一 (Yuichi Nakamura) (埼玉医科大学病院 血液内科)

**03-1 当院における再発・難治性多発性骨髄腫に対する CAR-T細胞 (Ide-cel) 治療
Idecabtagene vicleucel for refractory myeloma: a single center experience**

吉原 享子 (Kyoko Yoshihara)、山形 冬樹、藤田 佳之、片山 篤志、熊本 友子、佐守 真実、
平田 早希、宇都宮 惟人、吉原 哲
兵庫医科大学病院 血液内科

**03-2 再発・難治骨髄腫に対する治療法のネットワークメタアナリシス:サブグループ解析
A network meta-analysis of randomized trials in patients with relapsed or refractory
multiple myeloma: A subgroup analysis**

皆方 大佑 (Daisuke Minakata)¹、藤原 慎一郎^{1,2}、小山 峻介¹、大山 貴司¹、村橋 類¹、
中島 広大¹、池田 喬司¹、川口 慎一郎¹、戸田 由美子¹、伊藤 祥子¹、永山 隆史¹、真島 清実¹、
海野 健斗¹、森田 薫¹、蘆澤 正弘¹、山本 千裕¹、畑野 かおる¹、佐藤 一也¹、大嶺 謙¹、
神田 善伸^{1,3}

¹自治医科大学附属病院 血液科、²自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部、

³自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科

**03-3 MagnetisMM-2: a phase 1 study of elranatamab, a BCMA-CD3 bispecific antibody, in
Japanese patients (pts) with relapsed or refractory multiple myeloma (RRMM)**

Kenshi Suzuki¹, Kenichi Ishizawa², Hisayuki Yokoyama³, Yoichi Kamei⁴, Masatoshi Nakamura⁴,
Andrea Viqueira⁵, Jane Liang White⁶, Shinsuke Iida⁷

¹Department of Hematology, Japanese Red Cross Medical Center, Tokyo, Japan, ²Department of Internal
Medicine III, Division of Hematology and Cell Therapy, Yamagata University Graduate School of Medicine,
Yamagata, Japan, ³Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Graduate School of
Medicine, Sendai, Japan, ⁴Pfizer R&D Japan GK, Tokyo, Japan, ⁵Pfizer SLU, Madrid, Spain, ⁶Pfizer Inc, Cambridge,
MA, USA, ⁷Department of Hematology and Oncology, Nagoya City University Institute of Medical and
Pharmaceutical Sciences, Nagoya, Japan

03-4 Isatuximab plus carfilzomib and dexamethasone in East Asian patients with relapsed multiple myeloma: updated IKEMA subgroup analysis

Yawara Kawano¹, Kihyun Kim², Chang Ki Min³, Youngil Koh⁴, Kenichi Ishizawa⁵, Sung Hyun Kim⁶, Shigeki Ito⁷, Junji Tanaka⁸, Michihiro Uchiyama⁹, Tadao Ishida¹⁰, Jin Seok Kim¹¹, Philippe Moreau¹², Thomas Martin¹³, Keisuke Tada¹⁴, Marie-Laure Risse¹⁵, Kenshi Suzuki¹⁶

¹Department of Hematology, Kumamoto University Hospital, Kumamoto, Japan, ²Division of Hematology-Oncology, Department of Medicine, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Seoul, Republic of Korea, ³Department of Hematology, Seoul St Mary's Hospital, Seoul, Republic of Korea, ⁴Department of Internal Medicine, Seoul National University Hospital, Seoul, Republic of Korea, ⁵Department of Hematology and Cell Therapy, Yamagata University, Yamagata, Japan, ⁶Department of Internal Medicine, Yonsei University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea, ⁷Division of Hematology & Oncology, Department of Internal Medicine, Iwate Medical University School of Medicine, Yahaba, Japan, ⁸Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan, ⁹Department of Hematology, Japanese Red Cross Society, Suwa Hospital, Suwa, Japan, ¹⁰Department of Hematology, Japanese Red Cross Medical Center, Tokyo, Japan, ¹¹Department of Hematology, Severance Hospital, Seoul, Republic of Korea, ¹²Department of Hematology, University Hospital of Nantes, Nantes, France, ¹³Department of Medicine, University of California, San Francisco, CA, United States of America, ¹⁴Research and Development, Sanofi K.K., Tokyo, Japan, ¹⁵Sanofi Research and Development, Vitry-Sur-Seine, France, ¹⁶Myeloma/Amyloidosis Center, Japanese Red Cross Medical Center, Tokyo, Japan

**03-5 実臨床における再発難治性多発性骨髄腫に対する CAR-T 細胞療法
CAR-T cell therapy for relapsed and refractory multiple myeloma in real-world clinical practice**

野村 萌 (Moe Nomura)、小田 祐貴、粕谷 悠樹、武井 智美、佐藤 広太、小倉 瑞生、菊池 拓、阿部 有、塚田 信弘、石田 禎夫
日本赤十字社医療センター 血液内科

一般口演 4 (Oral Session 4)

5月27日(土) 16:40-17:20 第2会場 (Room 2)

検査および診断法 (バイオマーカー含む)

Diagnostic Procedure (including bio-marker)

座長：得平 道英 (Michihide Tokuhira) (JCHO埼玉メディカルセンター 血液内科)

04-1 ヘキソキナーゼ2低発現、¹⁸F-FDG-PET/CT 偽陰性であることは骨髄腫の予後良好因子になり得る

False-negative ¹⁸F-FDG-PET/CT with low hexokinase-2 expression may be a favorable prognostic factor in myeloma patients

福本 亜美 (Ami Fukumoto)¹、安部 佳亮²、北舘 明宏³、池田 翔³、池田 大輔¹、上杉 由香¹、田畑 里佳子¹、三浦 大典¹、成田 健太郎¹、竹内 正美¹、末永 孝生¹

¹ 亀田総合病院 血液腫瘍内科、² 筑波大学 血液内科、
³ 秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学講座

**04-2 高齢リアルワールドデータにおける R2ISS の適応
Application of the second revision of the International Staging System at rural Japanese regional center : A real world data from aging society**

上杉 由香 (Yuka Uesugi)、池田 大輔、福本 亜美、成田 健太郎、三浦 大典、竹内 正美、末永 孝生
亀田総合病院 血液腫瘍内科

04-3 多発性骨髄腫における正常免疫グロブリン回復の予後因子としての意義
Clinical significance of normal immunoglobulin recovery as a prognostic factor in multiple myeloma

水口 槇子 (Makiko Mizuguchi)、岡本 恵暢、八木 ひかる、賀川 久美子、柴田 泰伸、尾崎 修治
徳島県立中央病院

一般口演 5 (Oral Session 5)

5月28日(日) 9:00-9:55 第2会場 (Room 2)

病因・病態・治療に関する基礎研究 2/ 症例報告

Pathophysiology & Treatment (non-clinical) 2/Case Report

座長：菊池 次郎 (Jiro Kikuchi) (自治医科大学分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部)

05-1 多発性骨髄腫に対する RSK2 と AKT の二重標的戦略の理論基盤
The rationale for the dual-targeting therapeutic approach of RSK2 and AKT against multiple myeloma

伊佐 怜子 (Reiko Isa)¹、堀中 真野²、塚本 拓¹、水原 健太郎¹、藤林 悠人¹、民西 葉子¹、
岡本 明也¹、安田 周祐²、金山 悠加¹、木元 弥生¹、水谷 信介¹、志村 勇司¹、谷脇 雅史^{1,3}、
酒井 敏行²、黒田 純也¹

¹京都府立医科大学 血液内科、²京都府立医科大学 大学院医学研究科 創薬医学、
³京都府立医科大学 分子診断・治療医学

05-2 1q21 増幅を有する多発性骨髄腫では IL-6R の過剰発現を介して CD38 発現低下を示す
CD38 expression is downregulated in multiple myeloma with 1q21 gain/amplification via IL-6R overexpression

黒木 航 (Wataru Kuroki)¹、北舘 明宏¹、岩間 彩夏²、高橋 祐斗²、池田 翔¹、成田 健太郎³、
末永 孝生³、高橋 直人¹

¹秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学講座、²秋田大学大学院理工学研究科 生命科学専攻、
³亀田総合病院 血液腫瘍内科

05-3 強い催奇形性を有する医薬品の適正な安全管理手順における前向き介入クラスターランダム化非劣性比較研究

Prospective randomized non-inferiority comparative study in appropriate safety management procedures for pharmaceuticals with teratogenic properties

鈴木 憲史 (Kenshi Suzuki)¹、藤井 知行²、入山 高行²、佐藤 泰憲³、川崎 敏克⁴、林 邦彦⁵、
遠藤 一司⁶

¹日本赤十字社医療センター、²国立大学法人東京大学 医学部附属病院女性診療科、

³学校法人慶應義塾慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室、

⁴国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 薬剤部、⁵国立大学法人群馬大学 大学院保健学研究科、

⁶一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会

05-4 add(1)(p11) を持つ骨髄腫の 2 症例
Two cases of myeloma with add(1)(p11)

白崎 良輔 (Ryosuke Shirasaki)¹、入田 博史²、石原 晋²、田代 晴子¹、竹林 ちあき²

¹帝京大学医学部 内科学講座、²東邦大学医療センター大森病院 血液・腫瘍科

一般口演 6 (Oral Session 6)

5月28日(日) 11:15-12:10 第2会場 (Room 2)

骨髄腫類縁疾患 / その他

Myeloma-related Disorders/Others

座長：池田 翔 (Sho Ikeda) (秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学講座)

06-1 ラマン分光法を用いたALアミロイドーシスの新規迅速診断法の開発
Development of a novel technique for rapid diagnosis of AL amyloidosis by Raman spectroscopy

三木 浩和 (Hirokazu Miki)¹、高成 広起²、柳谷 伸一郎²、住谷 龍平³、大浦 雅博³、
曾我部 公子³、高橋 真美子³、丸橋 朋子³、原田 武志³、藤井 志朗³、中村 信元⁴、坂東 良美⁵、
常山 幸一⁶、安倍 正博³

¹徳島大学病院 輸血・細胞治療部、²徳島大学 ポストLEDフォトニクス研究所、

³徳島大学大学院 医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学、

⁴徳島大学大学院 医歯薬学研究部 実践地域診療・医科学分野、⁵徳島大学病院 病理部、

⁶徳島大学大学院 医歯薬学研究部 疾患病理学分野

06-2 A Phase II trial to evaluate the efficacy of bortezomib in patients with de novo Waldenström's macroglobulinemia / lymphoplasmacytic lymphoma

Ja Min Byun¹, Junghoon Shin¹, Jiyun Lee², Jeong-Ok Lee², Sung-Soo Yoon¹, Youngil Koh¹

¹Seoul National University Hospital, Korea, ²Seoul National University Bundang Hospital, Korea

06-3 多発性骨髄腫を対象とした国内治療方針に関するリアルワールドデータ研究
Real World Data research on multiple myeloma treatment in Japan

村上 博和 (Hirokazu Murakami)¹、安倍 正博²、丹尾 真理子³、今津 恭平⁴、飯田 真介⁵

¹群馬医療福祉大学医療技術学部 臨床検査学専攻、

²徳島大学大学院 医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学分野、³中外製薬株式会社 バイオメトリクス部、

⁴中外製薬株式会社 オンコロジー臨床開発部、⁵名古屋市立大学医薬学総合研究院 血液・腫瘍内科学分野

06-4 多発性骨髄腫と関連疾患における抗SARS-CoV-2 mRNA ワクチンの効果関連因子
Factors associated with the response to anti-SARS-CoV-2 mRNA vaccination in multiple myeloma and related disorders

大西 朗生 (Akio Onishi)¹、木元 弥生¹、水谷 信介¹、藤野 貴大¹、塚本 拓¹、宮下 明大^{1,2}、
西山 大地³、志村 和穂⁴、兼子 裕人⁴、清田 実希⁵、河田 英里⁵、平川 浩一³、高橋 良一⁶、
古林 勉⁷、内山 人二⁷、魚嶋 伸彦²、稲葉 亨⁸、貫井 陽子⁸、志村 勇司¹、黒田 純也¹

¹京都府立医科大学 血液内科、²京都第二赤十字病院 血液内科、³市立福知山市民病院 血液内科、

⁴愛生会山科病院 血液内科、⁵松下記念病院 血液内科、⁶近江八幡市立総合医療センター 血液内科、

⁷京都第一赤十字病院 血液内科、⁸京都府立医科大学 分子病態感染制御・検査医学

アンコール (口演) (Encore (Oral Session)) 1

5月28日(日) 13:15-14:10 第2会場 (Room 2)

アンコール

Encore

座長：堺田 恵美子 (Emiko Sakaida) (千葉大学医学部附属病院 血液内科)
松木 絵里 (Eri Matsuki) (慶應義塾大学医学部 血液内科)

07-1 Daratumumab + Lenalidomide/Bortezomib/Dexamethasone (D-RVd) in Transplant-eligible Newly Diagnosed Multiple Myeloma (NDMM): GRIFFIN Subgroup Analysis

Ajai Chari¹, Jonathan L. Kaufman², Jacob Laubach³, Douglas W. Sborov⁴, Brandi Reeves⁵, Cesar Rodriguez¹, Rebecca Silbermann⁶, Luciano J. Costa⁷, Larry D. Anderson Jr⁸, Nitya Nathwani⁹, Nina Shah¹⁰, Naresh Bumma¹¹, Sarah A. Holstein¹², Caitlin Costello¹³, Andrzej Jakubowiak¹⁴, Tanya M. Wildes¹², Robert Z. Orlowski¹⁵, Kenneth H. Shain¹⁶, Andrew J. Cowan¹⁷, Huiling Pei¹⁸, Annelore Cortoos¹⁹, Sharmila Patel¹⁹, Thomas S. Lin¹⁹, Paul G. Richardson³, Saad Z. Usmani²⁰, Peter M. Voorhees²¹

¹Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY, USA, ²Winship Cancer Institute, Emory University, Atlanta, GA, USA, ³Dana-Farber Cancer Institute, Harvard Medical School, Boston, MA, USA, ⁴Huntsman Cancer Institute, University of Utah School of Medicine, Salt Lake City, UT, USA, ⁵University of North Carolina-Department of Medicine-Chapel Hill, Chapel Hill, NC, USA, ⁶Knight Cancer Institute, Oregon Health & Science University, Portland, OR, USA, ⁷University of Alabama at Birmingham, Birmingham, AL, USA, ⁸Myeloma, Waldenstrom's and Amyloidosis Program, Simmons Comprehensive Cancer Center, UT Southwestern Medical Center, Dallas, TX, USA, ⁹Judy and Bernard Briskin Center for Multiple Myeloma Research, City of Hope Comprehensive Cancer Center, Duarte, CA, USA, ¹⁰University of California San Francisco, San Francisco, CA, USA, ¹¹Division of Hematology, The Ohio State University Comprehensive Cancer Center, Columbus, OH, USA, ¹²Division of Oncology and Hematology, Department of Internal Medicine, University of Nebraska Medical Center, Omaha, NE, USA, ¹³Moores Cancer Center, University of California San Diego, La Jolla, CA, USA, ¹⁴University of Chicago Medical Center, Chicago, IL, USA, ¹⁵Department of Lymphoma & Myeloma, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, TX, USA, ¹⁶Department of Malignant Hematology, H. Lee Moffitt Cancer Center, Tampa, FL, USA, ¹⁷Division of Medical Oncology, University of Washington, Seattle, WA, USA, ¹⁸Janssen Research & Development, LLC, Titusville, NJ, USA, ¹⁹Janssen Scientific Affairs, LLC, Horsham, PA, USA, ²⁰Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA, ²¹Levine Cancer Institute, Atrium Health Wake Forest Baptist, Charlotte, NC, USA

07-2 Daratumumab-based Quadruplets for Newly Diagnosed Multiple Myeloma (NDMM) Pts With High-risk Cytogenetic Abnormalities (HRCA) in GRIFFIN and MASTER

Natalie S. Callander¹, Rebecca Silbermann², Jonathan L. Kaufman³, Kelly N. Godby⁴, Jacob Laubach⁵, Timothy Schmidt¹, Douglas W. Sborov⁶, Eva Medvedova², Brandi Reeves⁷, Binod Dhakal⁸, Cesar Rodriguez⁹, Saurabh Chhabra⁸, Ajai Chari⁹, Susan Bal⁴, Larry D. Anderson Jr¹⁰, Bhagirathbhai R. Dholaria¹¹, Nitya Nathwani¹², Parameswaran Hari⁸, Nina Shah¹³, Naresh Bumma¹⁴, Sarah A. Holstein¹⁵, Caitlin Costello¹⁶, Andrzej Jakubowiak¹⁷, Tanya M. Wildes¹⁵, Robert Z. Orlowski¹⁸, Kenneth H. Shain¹⁹, Andrew J. Cowan²⁰, Huiling Pei²¹, Annelore Cortoos²², Sharmila Patel²², Thomas S. Lin²², Smith Giri²³, Luciano J. Costa⁴, Paul G. Richardson⁵, Saad Z. Usmani²⁴, Peter M. Voorhees²⁵

¹University of Wisconsin Carbone Cancer Center, Madison, WI, USA, ²Knight Cancer Institute, Oregon Health & Science University, Portland, OR, USA, ³Winship Cancer Institute, Emory University, Atlanta, GA, USA, ⁴University of Alabama at Birmingham Hospital, Birmingham, AL, USA, ⁵Dana-Farber Cancer Institute, Harvard Medical School, Boston, MA, USA, ⁶Huntsman Cancer Institute, University of Utah, Salt Lake City, UT, USA, ⁷University of North Carolina–Department of Medicine–Chapel Hill, Chapel Hill, NC, USA, ⁸Medical College of Wisconsin, Division of Hematology/Oncology, Department of Medicine, Milwaukee, WI, USA, ⁹Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY, USA, ¹⁰Myeloma, Waldenstrom's and Amyloidosis Program, Simmons Comprehensive Cancer Center, UT Southwestern Medical Center, Dallas, TX, USA, ¹¹Vanderbilt University Medical Center, Nashville, TN, USA, ¹²Judy and Bernard Briskin Center for Multiple Myeloma Research, City of Hope Comprehensive Cancer Center, Duarte, CA, USA, ¹³Department of Medicine, University of California San Francisco, San Francisco, CA, USA, ¹⁴Division of Hematology, The Ohio State University Comprehensive Cancer Center, Columbus, OH, USA, ¹⁵Division of Oncology & Hematology, Department of Internal Medicine, University of Nebraska Medical Center, Omaha, NE, USA, ¹⁶Moore Cancer Center, University of California San Diego, La Jolla, CA, USA, ¹⁷University of Chicago Medical Center, Chicago, IL, USA, ¹⁸Department of Lymphoma & Myeloma, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, TX, USA, ¹⁹Department of Malignant Hematology, H. Lee Moffitt Cancer Center, Tampa, FL, USA, ²⁰Division of Medical Oncology, University of Washington, Seattle, WA, USA, ²¹Janssen Research & Development, LLC, Titusville, NJ, USA, ²²Janssen Scientific Affairs, LLC, Horsham, PA, USA, ²³University of Alabama at Birmingham School of Medicine Hematology & Oncology, Birmingham, AL, USA, ²⁴Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA, ²⁵Levine Cancer Institute, Atrium Health Wake Forest Baptist, Charlotte, NC, USA

07-3 Daratumumab (DARA) + Lenalidomide/Dexamethasone (D-Rd) in Transplant-ineligible Newly Diagnosed Multiple Myeloma (NDMM): Key Subgroups of MAIA

Shaji K. Kumar¹, Thierry Facon², Saad Z. Usmani³, Nizar Bahlis⁴, Noopur Rajee⁵, Torben Plesner⁶, Robert Z. Orlowski⁷, Supratik Basu⁸, Hareth Nahi⁹, Cyrille Hulin¹⁰, Hang Quach¹¹, Hartmut Goldschmidt¹², Michael O'Dwyer¹³, Aurore Perrot¹⁴, Christopher P. Venner^{15,16}, Katja Weisel¹⁷, Mourad Tiab¹⁸, Margaret Macro¹⁹, Laurent Frenzel²⁰, Xavier Leleu²¹, George Wang²², Huiling Pei²³, Maria Krevvata²², Robin Carson²², Fredrik Borgsten²⁴, Philippe Moreau²⁵

¹Department of Hematology, Mayo Clinic Rochester, Rochester, MN, USA, ²University of Lille, CHU Lille, Service des Maladies du Sang, Lille, France, ³Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA, ⁴Arnie Charbonneau Cancer Research Institute, University of Calgary, Calgary, AB, Canada, ⁵Center for Multiple Myeloma, Massachusetts General Hospital Cancer Center, Boston, MA, USA, ⁶Vejle Hospital and University of Southern Denmark, Vejle, Denmark, ⁷Department of Lymphoma & Myeloma, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, TX, USA, ⁸Royal Wolverhampton NHS Trust and University of Wolverhampton, CRN West Midlands, NIHR, Wolverhampton, UK, ⁹Karolinska Institute, Department of Medicine, Division of Hematology, Karolinska University Hospital at Huddinge, Stockholm, Sweden, ¹⁰Department of Hematology, Hôpital Haut Lévêque, University Hospital, Pessac, France, ¹¹University of Melbourne, St Vincent's Hospital, Melbourne, Australia, ¹²GMMG-Study Group at University Hospital Heidelberg, Internal Medicine V, Heidelberg, Germany, ¹³Department of Medicine/Haematology, NUI, Galway, Republic of Ireland, ¹⁴CHU de Toulouse, IUCT-O, Université de Toulouse, UPS, Service d'Hématologie, Toulouse, France, ¹⁵Department of Medical Oncology, Cross Cancer Institute, University of Alberta, Edmonton, Alberta, Canada, ¹⁶BC Cancer – Vancouver Centre Group, Vancouver, Canada, ¹⁷Department of Oncology, Hematology and Bone Marrow Transplantation with Section of Pneumology, University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Hamburg, Germany, ¹⁸CHD Vendée, La Roche sur Yon, France, ¹⁹Centre Hospitalier Universitaire (CHU) de Caen, Caen, France, ²⁰Hôpital Necker-Enfants Malades, Paris, France, ²¹CHU Poitiers, Hôpital la Milétrie, Poitiers, France, ²²Janssen Research & Development, LLC, Spring House, PA, USA, ²³Janssen Research & Development, LLC, Titusville, NJ, USA, ²⁴Janssen Research & Development, LLC, Raritan, NJ, USA, ²⁵Hematology Department, University Hospital Hôtel-Dieu, Nantes, France

07-4 Daratumumab (DARA) + Lenalidomide/Dexamethasone (D-Rd) in Transplant-ineligible Newly Diagnosed Multiple Myeloma (NDMM): MAIA Age Subgroup Analysis

Shaji K. Kumar¹, Thierry Facon², Katja Weisel³, Saad Z. Usmani⁴, Philippe Moreau⁵, Torben Plesner⁶, Robert Z. Orlowski⁷, Nizar Bahlis⁸, Supratik Basu⁹, Hareth Nahi¹⁰, Cyrille Hulin¹¹, Hang Quach¹², Michael O'Dwyer¹³, Aurore Perrot¹⁴, Christopher P. Venner^{15,16}, Noopur Raje¹⁷, Mourad Tiab¹⁸, Margaret Macro¹⁹, Laurent Frenzel²⁰, Xavier Leleu²¹, George Wang²², Huiling Pei²³, Robin Carson²², Fredrik Borgsten²⁴, Hartmut Goldschmidt²⁵

¹Department of Hematology, Mayo Clinic Rochester, Rochester, MN, USA, ²University of Lille, CHU Lille, Service des Maladies du Sang, Lille, France, ³Department of Oncology, Hematology and Bone Marrow Transplantation with Section of Pneumology, University Medical Center Hamburg-Eppendorf, Hamburg, Germany, ⁴Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA, ⁵Hematology Department, University Hospital Hôtel-Dieu, Nantes, France, ⁶Vejle Hospital and University of Southern Denmark, Vejle, Denmark, ⁷Department of Lymphoma & Myeloma, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, TX, USA, ⁸Arnie Charbonneau Cancer Research Institute, University of Calgary, Calgary, AB, Canada, ⁹Royal Wolverhampton NHS Trust and University of Wolverhampton, CRN West Midlands, NIHR, Wolverhampton, UK, ¹⁰Karolinska Institute, Department of Medicine, Division of Hematology, Karolinska University Hospital at Huddinge, Stockholm, Sweden, ¹¹Department of Hematology, Hôpital Haut Lévêque, University Hospital, Pessac, France, ¹²University of Melbourne, St Vincent's Hospital, Melbourne, Australia, ¹³Department of Medicine/Haematology, NUI, Galway, Republic of Ireland, ¹⁴CHU de Toulouse, IUCT-O, Université de Toulouse, UPS, Service d'Hématologie, Toulouse, France, ¹⁵Department of Medical Oncology, Cross Cancer Institute, University of Alberta, Edmonton, Alberta, Canada, ¹⁶BC Cancer – Vancouver Centre Group, Vancouver, Canada, ¹⁷Center for Multiple Myeloma, Massachusetts General Hospital Cancer Center, Boston, MA, USA, ¹⁸CHD Vendée, La Roche sur Yon, France, ¹⁹Centre Hospitalier Universitaire (CHU) de Caen, Caen, France, ²⁰Hôpital Necker-Enfants Malades, Paris, France, ²¹CHU Poitiers, Hôpital la Milétrie, Poitiers, France, ²²Janssen Research & Development, LLC, Spring House, PA, USA, ²³Janssen Research & Development, LLC, Titusville, NJ, USA, ²⁴Janssen Research & Development, LLC, Raritan, NJ, USA, ²⁵GMMG-Study Group at University Hospital Heidelberg, Internal Medicine V, Heidelberg, Germany

アンコール (口演) (Encore (Oral Session)) 2

5月28日(日) 14:15–15:10 第2会場 (Room 2)

アンコール

Encore

座長：佐々木 純 (Makoto Sasaki) (順天堂大学医学部 内科学血液学講座)

塚田 信弘 (Nobuhiro Tsukada) (日本赤十字社医療センター 血液内科)

07-5 Building patient profiles associated with manufacturing and clinical endpoints in RRMM patients treated with idcabtagene vicleucel (ide-cel)

Julie Rytlewski¹, Jaymes Fuller¹, David Mertz¹, Ciara Freeman², Salomon Manier³, Nina Shah⁴, Timothy B. Campbell¹

¹Bristol Myers Squibb, Princeton, NJ, USA, ²Moffitt Cancer Center, Tampa, FL, USA, ³CHU de Lille, University of Lille, Lille, France, ⁴University of California San Francisco, San Francisco, CA, USA

07-6 Ciltacabtagene Autoleucl in Patients with Multiple Myeloma with Early Relapse After Initial Therapy: CARTITUDE-2 Cohort B 18-Month Follow-up (Encore)

Niels WCJ van de Donk¹, Mounzer Agha², Adam D Cohen³, Yael C Cohen⁴, Sébastien Anguille⁵, Tessa Kerre⁶, Wilfried Roeloffzen⁷, Deepu Madduri⁸, Jordan M Schechter⁹, Kevin C De Braganca⁹, Carolyn C Jackson⁹, Helen Varsos⁹, Pankaj Mistry¹⁰, Tito Roccia¹¹, Xiaoying Xu⁹, Katherine Li¹², Enrique Zudaire¹², Christina Corsale⁹, Muhammad Akram¹³, Dong Geng¹³, Lida Pacaud¹³, Pieter Sonneveld¹⁴, Sonja Zweegman¹

¹Amsterdam University Medical Center, Vrije Universiteit Amsterdam, Amsterdam, Netherlands, ²UPMC Hillman Cancer Center, Pittsburgh, PA, USA, ³Abramson Cancer Center, Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania, Philadelphia, PA, USA, ⁴Tel-Aviv Sourasky (Ichilov) Medical Center and Sackler Faculty of Medicine, Tel Aviv University, Tel Aviv, Israel, ⁵Vaccine and Infectious Disease Institute, University of Antwerp, Edegem, Belgium, Center for Cell Therapy and Regenerative Medicine, Antwerp University Hospital, Edegem, Belgium, ⁶Ghent University Hospital, Ghent, Belgium, ⁷University Medical Center Groningen, Groningen, Netherlands, ⁸Mount Sinai Medical Center, New York, NY, USA, ⁹Janssen Research & Development, Raritan, NJ, USA, ¹⁰Janssen Research & Development, High Wycombe, UK, ¹¹Janssen Global Services, Raritan, NJ, USA, ¹²Janssen Research & Development, Spring House, PA, USA, ¹³Legend Biotech USA Inc., Somerset, NJ, USA, ¹⁴Erasmus MC Cancer Institute, Rotterdam, Netherlands

07-7 Phase 1/2 Results from MonumentAL-1: Talquetamab (TAL), a GPRC5D x CD3 Bispecific Antibody, in Relapsed/Refractory Multiple Myeloma (RRMM) Patients (Encore)

Maria-Victoria Mateos¹, Cyrille Touzeau², Carolina Schinke³, Monique C. Minnema⁴, Jesus Berdeja⁵, Albert Oriol⁶, Niels WCJ van de Donk⁷, Paula Rodriguez-Otero⁸, Elham Askari⁹, Ajai Chari¹⁰, Luciano J. Costa¹¹, Jo Caers¹², Leo Rasche¹³, Amrita Krishnan¹⁴, Deeksha Vishwamitra¹⁵, Xuewen Ma¹⁵, Xiang Qin¹⁵, Katharine S. Gries¹⁶, Michela Campagna¹⁷, Tara Masterson¹⁵, Brandi Hilder¹⁵, Jaszianne Tolbert¹⁵, Thomas Renaud¹⁶, Jenna D. Goldberg¹⁶, Christoph Heuck¹⁵, Jesús San-Miguel¹⁸, Philippe Moreau²

¹University Hospital of Salamanca/IBSAL/CIC/CIBERONC, Salamanca, Spain, ²University Hospital Hôtel-Dieu, Nantes, France, ³University of Arkansas for Medical Sciences Winthrop P. Rockefeller Institute, Little Rock, AR, USA, ⁴University Medical Center Utrecht, Utrecht, Netherlands, ⁵Sarah Cannon Research Institute and Tennessee Oncology, Nashville, TN, USA, ⁶Institut Català d'Oncologia and Institut Josep Carreras. Hospital Germans Trias i Pujol, Badalona, Barcelona, Spain, ⁷Department of Hematology, Amsterdam University Medical Center, Vrije Universiteit Amsterdam, Cancer Center Amsterdam, Amsterdam, Netherlands, ⁸Clínica Universidad de Navarra, CIMA, CIBERONC, IDISNA, Pamplona, Spain, ⁹Hospital Universitario Fundación Jiménez Díaz, Madrid, Spain, ¹⁰Mount Sinai School of Medicine, New York, NY, USA, ¹¹University of Alabama at Birmingham, Birmingham, AL, USA, ¹²University of Liege, Liege, Belgium, ¹³Universitätsklinikum Würzburg, Medizinische Klinik und Poliklinik II, Würzburg, Germany, ¹⁴City of Hope Comprehensive Cancer Center, Duarte, CA, USA, ¹⁵Janssen Research & Development, Spring House, PA, USA, ¹⁶Janssen Research & Development, Raritan, NJ, USA, ¹⁷Janssen Research & Development, Madrid, Spain, ¹⁸Clínica Universidad de Navarra, CCUN, CIMA, CIBERONC, IDISNA, Pamplona, Spain

07-8 Phase 2 Study of Ciltacabtagene Autoleucl in Chinese Patients with Relapsed/Refractory Multiple Myeloma (CARTIFAN-1): 26-Month Median Follow-up (Encore)

Jian-Qing Mi¹, Wanhong Zhao², Hongmei Jing³, Weijun Fu⁴, Jianda Hu⁵, Lijuan Chen⁶, Yiwen Zhang⁷, Dan Yao⁸, Hui Li⁸, Jordan M Schechter⁹, Fan Yang⁸, Huabin Sun⁹, Sen Hong Zhuang⁸, Da Xu⁷, Tracy Luo⁷, Xiaohu Fan¹⁰, Ting Niu¹¹, Jie Jin¹², Sai-Juan Chen¹

¹Shanghai Institute of Hematology, State Key Laboratory of Medical Genomics, National Research Center for Translational Medicine at Shanghai, Ruijin Hospital, Shanghai Jiao Tong University School of Medicine, Shanghai, China, ²The Second Affiliated Hospital of Xi'an Jiaotong University, Xi'an, ShaanXi, China, ³Peking University Third Hospital, Beijing, China, ⁴Shanghai Changzheng Hospital and Department of Hematology, Shanghai Fourth People's Hospital, School of Medicine, Tongji University, Shanghai, China, ⁵Fujian Medical University Union Hospital, Fuzhou, Fujian, China, ⁶Jiangsu Province Hospital, Nanjing, Jiangsu, China, ⁷Nanjing Legend Biotech Co. Ltd, Nanjing, Jiangsu, China, ⁸Janssen China Research & Development, Shanghai, China, ⁹Janssen Research & Development, Raritan, NJ, USA, ¹⁰Xi'an Jiaotong University Institute of Gene and Cell Therapy, Xi'an, ShaanXi, China, ¹¹West China Hospital, Sichuan University, Chengdu, Sichuan, China, ¹²First Affiliated Hospital, Zhejiang University College of Medicine, Hangzhou, Zhejiang, China

ポスターセッション 1 (Poster Session 1)

5月27日(土) 17:30-18:30 ポスター会場 (Poster Room)

病因・病態・治療に関する基礎研究

Pathophysiology & Treatment (non-clinical)

座長：安井 寛 (Hiroshi Yasui) (東京大学医科学研究所 革新的診断技術応用基盤社会連携研究部門/
附属病院 血液腫瘍内科)

① P1-1 多発性骨髄腫における一細胞統合データセットの構築

Establishment of a platform for single-cell meta-analysis in multiple myeloma

山元 智史 (Tomofumi Yamamoto)^{1,2}、中山 淳¹、服部 豊³、落谷 孝広²、山本 雄介¹

¹ 国立がん研究センター 研究所 病態情報学ユニット、² 東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門、
³ 慶應義塾大学 薬学部 病態生理学講座

① P1-2 多発性骨髄腫において低酸素刺激は microRNA-26 の発現亢進を介して CD38 発現を低下させる

Hypoxic stress decreases CD38 expression via up-regulation of microRNA-26a in multiple myeloma

岩間 彩夏 (Sayaka Iwama)¹、北舘 明宏²、黒木 航²、高橋 祐斗¹、池田 翔²、高橋 直人²

¹ 秋田大学大学院理工学研究科 生命科学専攻、² 秋田大学大学院医学系研究科 血液腎臓膠原病内科

① P1-3 c-FOS は IKZF1 転写活性化複合体の重要な構成要素であり、多発性骨髄腫におけるレナリドマイド耐性を誘導する

c-FOS is an integral component of the IKZF1 transactivator complex and mediates lenalidomide resistance in multiple myeloma

長田 直希 (Naoki Osada)¹、菊池 次郎¹、安井 寛^{2,3}、池田 翔⁴、松岡 紗恵¹、高橋 直人⁴、
古川 雄祐^{1,5}

¹ 自治医科大学 分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部、² 聖マリアンナ医科大学内科学 (血液・腫瘍内科)、
³ 東京大学医科学研究所、⁴ 秋田大学医学部血液・腎臓・膠原病内科、⁵ 帝京科学大学医学教育センター

① P1-4 エピジェネティック因子 CDYL2 は多発性骨髄腫におけるレナリドミド感受性を減弱する

Epigenetic factor CDYL2 attenuates lenalidomide sensitivity in multiple myeloma

市川 大樹 (Daiju Ichikawa)、松下 麻衣子、服部 豊

慶應義塾大学薬学部 病態生理学講座

P1-5 HDAC 阻害剤依存性マイクロ RNA の網羅的解析—多発性骨髄腫における腫瘍抑制性 miR-7 の役割—

Comprehensive analysis of HDAC inhibitor-dependent microRNAs: the role of tumor-suppressive miR-7 in multiple myeloma

池田 翔 (Sho Ikeda)、山田 雅浩、北舘 明宏、阿部 史人、小林 敬宏、田川 博之、高橋 直人

秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学講座

ポスターセッション 2 (Poster Session 2)

5月27日(土) 17:30-18:30 ポスター会場 (Poster Room)

検査および診断法 (バイオマーカー含む) / 合併症・支持療法・チーム医療

Diagnostic Procedure (including bio-marker) / Complications, Supportive Care and Comprehensive Care

座長：横山 明弘 (Akihiro Yokoyama) (国立病院機構東京医療センター 血液内科)

⑤ P2-1 Exploration of Clinical Implication of Liquid Biopsy Targeting Circulating Tumor DNA In Multiple Myeloma and Its Precursor Diseases

Sung-Soo Park¹, Chang-Ki Min¹, Ji-Young Lim¹, Seung-Hyun Jung²

¹Department of Internal Medicine, Seoul St. Mary's Hospital, The Catholic University of Korea, Korea,

²Biochemistry, College of Medicine, The Catholic University of Korea, Korea

⑤ P2-2 初発多発性骨髄腫 43 例における del13q の検討

The analysis of del13q by FISH in 43 patients with NDMM

伊藤 巧 (Satoshi Ito)、細川 雅司、鈴木 琢磨、相澤 桂子、東梅 友美、石澤 賢一

山形大学医学部第3内科

P2-3 Daratumumab による治療中の AL アミロイドーシス患者における Hydrashift 2/4 daratumumab assay の有用性

Utility of Hydrashift 2/4 daratumumab assay in patients with AL amyloidosis under Daratumumab-based treatment

佐藤 広太 (Kota Sato)¹、和泉 拓野²、粕谷 悠樹¹、野村 萌¹、武井 智美¹、小倉 瑞生¹、阿部 有¹、塚田 信弘¹

¹日本赤十字社医療センター血液内科、²防衛医科大学病院血液内科

P2-4 当院におけるダラツムマブ点滴静注と皮下注射における infusion related reaction 発現頻度の比較検討

Comparison of the frequency of daratumumab infusion related reaction between intravenous drip infusion and subcutaneous injection in our hospital

大井 隆広 (Takahiro Oi)¹、淵田 真一²、平城 陽介¹、北澤 文章³、瀧 紹代¹、太田 沙絵子²、木元 弥生²、初瀬 真弓²、島崎 千尋²

¹独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター 薬剤部、

²独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター 血液内科、

³独立行政法人地域医療機能推進機構 大和郡山病院 薬剤部

P2-5 未治療多発性骨髄腫に対する DRd 療法中に著明な好中球減少をきたした一例
Daratumumab, lenalidomide and dexamethasone (D-Rd)-induced severe neutropenia in a patient with newly diagnosed multiple myeloma

寺崎 幸恵 (Yukie Terasaki)¹、入内島 裕乃¹、松本 彬¹、三原 正大¹、斉藤 明生¹、磯田 淳^{1,2}、鈴木 司³、松本 守生¹

¹渋川医療センター 血液内科、²星医院 血液内科、³渋川医療センター 病理診断科

ポスターセッション 3 (Poster Session 3)

5月27日(土) 17:30-18:30 ポスター会場 (Poster Room)

初発未治療治療 (移植適応) / 再発難治治療

NDMM Treatment-Transplant eligible/RRMM Treatment

座長：木口 亨 (Toru Kiguchi) (獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科)

P3-1 多発性骨髄腫に対する自家末梢血幹細胞移植後のKRD地固め療法とIRD地固め療法の後方視的比較

Retrospective Comparison of KRD and IRD Consolidation Therapies after Peripheral Blood Stem Cell Transplantation for Multiple Myeloma

谷村 聡 (Akira Tanimura)、阿部 尚美、平井 理泉、工藤 大輔、竹下 昌孝、三輪 哲義
東京北医療センター

P3-2 多発性骨髄腫に対する自家造血幹細胞移植の治療成績：61例の単一施設の経験

Outcomes of autologous stem-cell transplantation for multiple myeloma: a single-center experience of 61 patients

佐藤 剛 (Tsuyoshi Sato)、浅野 雄哉、前田 峻大、清原 千貴、宮島 真理、大津 瑛裕、西谷 真来、佐々木 了政、岡野 良昭、上原 さつき、古和田 周吾、小宅 達郎、伊藤 薫樹
岩手医科大学内科学講座 血液腫瘍内科分野

P3-3 当科における75歳以上の高齢者再発・難治性多発性骨髄腫に対するIsaPd療法の使用経験
The efficacy and safety of IsaPd for relapsed or refractory multiple myeloma in our hospital

山田 俊樹 (Toshiki Yamada)¹、鶴見 寿²

¹ 岐阜県総合医療センター 血液内科、² 松波総合病院 血液内科

P3-4 ダラツムマブを投与した多発性骨髄腫患者における独立した予後因子としての単球数の維持
Maintaining monocyte counts as an independent prognostic factor in multiple myeloma treated with daratumumab

長尾 陸 (Riku Nagao)¹、鈴木 一史¹、郡司 匡弘¹、川島 雅晴¹、瓜生 英樹¹、香取 美津治^{1,2}、齋藤 健¹、島田 貴¹、西脇 嘉一^{1,2}、矢野 真吾¹

¹ 東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科、² 東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍・血液内科

P3-5 Real-world outcomes of selinexor and dexamethasone (SD) in patients with quad-exposed multiple myeloma: Korean, multicenter, retrospective analysis

Jun Ho Yi¹, Kihyun Kim², Jae Hoon Lee³, Hyeon-Seok Eom⁴, Youngil Koh⁵, Chang-Ki Min⁶, Je-Jung Lee⁷, Sung-Hoon Jung⁷

¹ Chung-Ang University Hospital, Korea, ² Division of Hematology-Oncology, Department of Medicine, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Korea, ³ Division of Hematology-Oncology, Gachon University College of Medicine, Incheon, Korea, ⁴ Department of Internal Medicine, National Cancer Center, Goyang, Korea, ⁵ Division of Hematology-Oncology, Department of Internal Medicine, Seoul National University Hospital, Seoul, Korea, ⁶ Department of Hematology, Seoul St. Mary's Hospital, College of Medicine, Catholic University, Seoul, Korea, ⁷ Department of Hematology-Oncology, Chonnam National University Hwasun Hospital, Gwangju, Korea

**P3-6 日本人再発・難治性多発性骨髄腫患者における isatuximab の特定使用成績調査
Isatuximab in Japanese patients with relapsed/refractory multiple myeloma: A post-marketing surveillance**

内山 倫宏 (Michihiro Uchiyama)¹、飯田 真介²、田上 奈海³、白井 丙午郎³、瀬戸 武士⁴、仁科 哲史⁴、鈴木 憲史⁵

¹諏訪赤十字病院 血液内科、²名古屋市立大学 血液・腫瘍内科、

³サノフィ株式会社 スペシャルティケア メディカル本部、⁴サノフィ株式会社 メディカルアフェアーズ本部、

⁵日本赤十字社医療センター 血液内科

ポスターセッション 4 (Poster Session 4)

5月27日(土) 17:30-18:30 ポスター会場 (Poster Room)

骨髄腫類縁疾患 / 症例報告 1

Myeloma-related Disorders/Case Report 1

座長：菊池 拓 (Taku Kikuchi) (日本赤十字社医療センター)

**P4-1 単一施設におけるリンパ形質細胞性リンパ腫の24例の後方視的解析
A retrospective analysis of 24 cases of lymphoplasmacytic lymphoma in a single institution**

久納 俊祐 (Shunsuke Kunou)、富田 将史、高木 雄介、新美 圭子、小杉 浩史

大垣市民病院 血液内科

**P4-2 当院での再発難治性ALアミロイドーシスに対する DaraCyBorD 療法の効果と安全性
Efficacy and safety of daratumumab plus CyBorD therapy for relapsed or refractory primary systemic light chain amyloidosis in our hospital**

住谷 龍平 (Ryohei Sumitani)¹、中村 信元²、大浦 雅博¹、曾我部 公子¹、高橋 真美子¹、丸橋 朋子¹、原田 武志¹、藤井 志朗¹、三木 浩和³、安倍 正博¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学分野、

²徳島大学大学院医歯薬学研究部 実践地域診療・医科学分野、³徳島大学病院 輸血・細胞治療部

④ P4-3 自家移植後長期プラトーの後に再発した骨髄腫症例に対する抗CD38抗体療法での対照的な効果：治療選択のための指標探索

Contrasting response to anti-CD38 monoclonal Abs in relapsed myeloma patients with long plateau after ASCT: seeking genomic clue for treatment option

竹下 昌孝 (Masataka Takeshita)^{1,2}、小玉 信之^{1,2}、比島 智子^{1,2}、岡崎 幸治²、阿部 尚美¹、平井 理泉¹、谷村 聡¹、工藤 大輔¹、三輪 哲義^{1,2}

¹東京北医療センター 血液内科、²国際骨髄腫先端治療研究センター

P4-4 Diagnosis of Extramedullary Involvement of Peripheral Nerve in Multiple Myeloma Using Positron Emission Tomography/Computed Tomography

Ka-Won Kang, Min Ji Jeon, Eun Sang Yu, Yong Park, Byung Soo Kim

Division of Hematology-Oncology, Department of Internal Medicine, Korea University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea

- P4-5** 5剤抵抗性骨髄腫に対して3回目の自家移植をブリッジングとしてCAR-T細胞療法を施行した一例

Autologous transplantation as a bridge to CAR T-cell therapy in a pentadrug refractory myeloma patient: a case report

山形 冬樹 (Fuyuki Yamagata)、吉原 享子、藤田 佳之、片山 篤志、熊本 友子、佐守 真実、平田 早希、宇都宮 惟人、吉原 哲

兵庫医科大学病院 血液内科

- P4-6** 併発AMLに対して同種造血幹細胞移植を施行したMGUSの1例

A case of MGUS who underwent allogeneic HCT for intercurrent AML

千金楽 涼水 (Suzumi Chigira)¹、瀬尾 幸子²、半田 智幸²、中村 由香²、高橋 渉²、中村 文美²、新井 ほのか²、佐々木 光²、今井 陽一²、三谷 絹子²

¹獨協医科大学病院 臨床研修センター、²獨協医科大学病院 血液・腫瘍内科

ポスターセッション 5 (Poster Session 5)

5月27日(土) 17:30-18:30 ポスター会場 (Poster Room)

症例報告 2/その他

Case Report 2/Others

座長：長田 眞 (Makoto Osada) (東京都済生会中央病院)

- P5-1** 自家移植後早期にセレウス菌による脳膿瘍をきたした多発性骨髄腫の1例

A case of multiple myeloma developed brain abscess caused by Bacillus cereus early after ASCT

工藤 大輔 (Daisuke Kudo)¹、阿部 尚美¹、平井 理泉¹、谷村 聡¹、竹下 昌孝^{1,2}、三輪 哲義^{1,2}

¹東京北医療センター 血液内科、²国際骨髄腫先端治療研究センター

- P5-2** Daratumumab-VMP療法中に再発した高齢骨髄腫患者に対しプロテアソーム阻害剤のクラス内移行が奏効した一例

A successful case of in-class transition with proteasome inhibitor-based therapy for an elderly RRMM patient during daratumumab with VMP

郡司 匡弘 (Tadahiro Gunji)^{1,2}、瓜生 英樹¹、塚本 公瑠実¹、望月 泰孝¹、大場 理恵¹、土橋 史明¹、矢野 真吾²

¹東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科、²東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科

- P5-3** 抗体薬治療でMRD陰性となった多発性骨髄腫の治療休止後の経過

Patients with multiple myeloma who became MRD-negative with antibody therapy after treatment discontinuation

内原 潤之介 (Junnosuke Uchihara)、難波 多恵子、新垣 均

那覇市立病院 血液内科

- P5-4** 直近のIsaPD療法に抵抗性でIsaKD療法が有効であった多発性骨髄腫

The efficacy of IsaKD regimen for patient with IsaPD regimen refractory multiple myeloma

外山 孝典 (Takanori Toyama)

宮崎県立延岡病院内科

P5-5 アミロイドーシスによる巨舌のため気管切開を要した骨髄腫の一例

Macroglossia due to amyloidosis requiring tracheotomy in patient with multiple myeloma

中野 朋香 (Tomoka Nakano)¹、山崎 皓平¹、長田 真¹、國枝 尚子¹、平尾 磨樹¹、塚田 唯子¹、
廣瀬 茂道²、岡本 真一郎¹、菊池 隆秀¹

¹ 東京都済生会中央病院 血液内科、² 東京都済生会中央病院 病理診断科

P5-6 髄外腫瘍再発に対しレナリドミド単剤療法が奏効した骨髄腫患者の遺伝的背景

Genetic background in a patient responded to lenalidomide monotherapy at relapse of extramedullary myeloma

小玉 信之 (Nobuyuki Kodama)^{1,2}、竹下 昌孝^{1,2}、比島 智子^{1,2}、平井 理泉¹、谷村 聡¹、
岡崎 幸治²、阿部 尚美¹、工藤 大輔¹、三輪 哲義^{1,2}

¹ 東京北医療センター 血液内科、² 国際骨髄腫先端治療研究センター

アンコール (ポスターセッション) (Encore (Poster Session))

5月27日(土) 17:30-18:30 ポスター会場 (Poster Room)

アンコール

Encore

座長：三村 尚也 (Naoya Mimura) (千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部)

P6-1 Idecabtagene Vicleucel (ide-cel) vs Standard (std) Regimens in Triple-Class-Exposed (TCE) RRMM: KarMMa-3 Randomized Controlled Trial (RCT) (Encore)

Tadao Ishida¹, Sergio Giralt², Sikander Ailawadhi³, Bertrand Arnulf⁴, Krina Patel⁵,
Michele Cavo⁶, Ajay K. Nooka⁷, Salomon Manier⁸, Natalie Callander⁹, Luciano J. Costa¹⁰,
Ravi Vij¹¹, Nizar J. Bahlis¹², Philippe Moreau¹³, Scott R. Solomon¹⁴, Michel Delforge¹⁵,
Jesús Berdeja¹⁶, Anna Truppel-Hartmann¹⁷, Zhihong Yang¹⁸, Linda Favre-Kontula¹⁸, Fan Wu¹⁸,
Julia Piasecki¹⁸, Mark Cook^{18,19}, Paula Rodríguez Otero²⁰

¹Japanese Red Cross Medical Center, Shibuya, Tokyo, Japan, ²Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA, ³Mayo Clinic, Jacksonville, FL, USA, ⁴Hôpital Saint-Louis, Paris, APHP, Université Paris cite, France, ⁵MD Anderson Cancer Center, University of Texas, Houston, TX, USA, ⁶IRCCS Azienda Ospedaliero-Universitaria di Bologna, Seràgnoli Institute of Hematology, Bologna University School of Medicine, Bologna, Italy, ⁷Winship Cancer Institute of Emory University, Atlanta, GA, USA, ⁸CHU Lille, Université de Lille, Lille, France, ⁹Univeristy of Wisconsin Carbone Cancer Center, Madison, WI, USA, ¹⁰University of Alabama at Birmingham, Birmingham, AL, USA, ¹¹Washington University School of Medicine in St. Louis, Saint Louis, MO, USA, ¹²Arnie Charbonneau Cancer Institute, University of Calgary, Calgary, AB, Canada, ¹³University Hospital of Nantes, Nantes, France, ¹⁴Northside Hospital Cancer Institute, Atlanta, GA, USA, ¹⁵Universitaire Ziekenhuizen Leuven, Leuven, Belgium, ¹⁶Sarah Cannon Cancer Center and Tennessee Oncology, Nashville, TN, USA, ¹⁷2seventy bio, Cambridge, MA, USA, ¹⁸Bristol Myers Squibb, Princeton, NJ, USA, ¹⁹Bristol Myers Squibb, Princeton, NJ, USA; Institute of Cancer and Genomic Sciences, University of Birmingham, Edgbaston, Birmingham, UK, ²⁰Clínica Universidad de Navarra, Pamplona, Spain

P6-2 Elranatamab in Combination with Daratumumab for Patients with Relapsed/Refractory Multiple Myeloma: Results from the Phase 3 MagnetisMM-5 Safety Lead-In Cohort (Encore)

Takashi Ikeda¹, Sebastian Grosicki², Ulf-Henrik Mellqvist³, Łukasz Pruchniewski⁴, Jacob Crafoord⁵, Suzanne Trudel⁶, Chang-Ki Min⁷, Darrell White⁸, Adrián Alegre⁹, Markus Hansson¹⁰, Kazutaka Sunami¹¹, Eric Leip¹², Arthur Kudla¹², Gregory Finn¹², Youngil Koh¹³

¹Division of Hematology and Stem Cell Transplantation, Shizuoka Cancer Center, Shizuoka, Japan, ²Department of Hematology and Cancer Prevention, Medical University of Silesia, Katowice, Poland, ³Department of Hematology, South Elfsborg Hospital, Borås, Sweden, ⁴Centrum Medyczne Pratia Poznań, Poznań, Poland, ⁵Department of Hematology, Örebro University Hospital, Örebro, Sweden, ⁶Division of Hematology, Princess Margaret Cancer Center, Toronto, ON, Canada, ⁷Department of Hematology, Seoul St. Mary's Hospital, College of Medicine, The Catholic University of Korea, Seoul, South Korea, ⁸Division of Hematology, Dalhousie University and Queen Elizabeth II Health Sciences Centre, Halifax, NS, Canada, ⁹Department of Hematology, University Hospital of La Princesa, Madrid, Spain, ¹⁰Department of Hematology, Sahlgrenska University Hospital, Göteborg, Sweden, ¹¹Department of Hematology, National Hospital Organization Okayama Medical Center, Okayama, Japan, ¹²Pfizer Inc, Cambridge, MA, USA, ¹³Department of Internal Medicine, Seoul National University Hospital, Seoul, South Korea

P6-3 Efficacy and safety of elranatamab in patients with relapsed/refractory multiple myeloma: Cohort A of MagnetisMM-3 (Encore)

Shinsuke Iida¹, Nizar Bahlis², Michael H Tomasson³, Mohamad Mohty⁴, Ruben Niesvizky⁵, Ajay Nooka^{6,7}, Salomon Manier⁷, Christopher Maisel⁸, Yogesh Jethava⁹, Joaquin Martinez-Lopez¹⁰, H. Miles Prince¹¹, Bertrand Arnulf¹², Paula Rodriguez-Otero¹³, Guenther Koehne¹⁴, Cyrille Touzeau¹⁵, Noopur Raje¹⁶, Marc-Steffen Raab¹⁷, Eric Leip¹⁸, Sharon Sullivan¹⁸, Umberto Conte¹⁹, Andrea Viqueira²⁰, Alexander Lesokhin²¹

¹Department of Hematology & Oncology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan, ²Arnie Charbonneau Cancer Institute, University of Calgary, Calgary, AB, Canada, ³Holden Comprehensive Cancer Center, University of Iowa, Iowa City, IA, USA, ⁴Sorbonne University, Hôpital Saint-Antoine, and INSERM UMRs938, Paris, France, ⁵Weill Cornell Medical College - New York Presbyterian Hospital, New York, NY, USA, ⁶Winship Cancer Institute, Atlanta, GA, USA, ⁷CHU de Lille, Lille, France, ⁸Baylor University Medical Center, Dallas, TX, USA, ⁹Indiana Blood & Marrow Transplant, Indianapolis, IN, USA, ¹⁰Hospital Universitario 12 DE OCTUBRE, Madrid, Spain, ¹¹Epworth Healthcare, Melbourne, Australia, ¹²Hôpital Saint-Louis, Paris, France, ¹³Clinica Universidad de Navarra, Madrid, Spain, ¹⁴Miami Cancer Institute, Miami, FL, United States, ¹⁵CHU de Nantes, Nantes, France, ¹⁶Massachusetts General Hospital Cancer Center, Harvard Medical School, Boston, MA, USA, ¹⁷Heidelberg Myeloma Center, Department of Hematology/Oncology, Heidelberg University Hospital, Heidelberg, Germany, ¹⁸Pfizer Inc, Cambridge, MA, USA, ¹⁹Pfizer Inc, New York, NY, USA, ²⁰Pfizer SLU, Madrid, Spain, ²¹Division of Hematology and Oncology, Memorial Sloan Kettering Cancer Center/Weill Cornell Medical College, New York, NY, USA

P6-4 RRMM患者を対象とした注射用プロテアソーム阻害剤投与後のイキサゾミブ+Rd併用療法の有効性及び安全性の検討

Efficacy and Safety of Ixazomib Plus Lenalidomide and Dexamethasone Following Injectable Proteasome Inhibitor-Based Therapy in RRMM (Encore)

佐々木 純 (Makoto Sasaki)¹, 鈴木 憲史², 阿部 有³, 伊藤 薫樹⁴, 西脇 嘉一⁵, 半田 寛⁶, 張 高明⁷, 添田 純平⁸, 森 郁生⁸, 篠崎 智大⁹, 竹迫 直樹¹⁰

¹順天堂大学医学部 内科学血液学講座、²日本赤十字社医療センター、³日本赤十字社医療センター、⁴岩手医科大学、⁵東京慈恵医科大学付属柏病院、⁶群馬大学医学部附属病院、⁷新潟健診プラザ、⁸武田薬品工業株式会社、⁹東京理科大学、¹⁰練馬光が丘病院

P6-5 Final analysis of single-agent belantamab mafodotin in patients with relapsed or refractory multiple myeloma (RRMM) in the DREAMM-2 trial: Encore

Ajay K. Nooka¹, Adam Cohen², Hans Lee³, Ashraf Badros⁴, Attaya Suvannasankha⁵, Natalie Callander⁶, Al-Ola Abdallah⁷, Suzanne Trudel⁸, Ajai Chari⁹, Edward Libby¹⁰, Hirofumi Nakano¹¹, Maria Chaudhry¹², Malin Hultcrantz¹³, K. Martin Kortüm¹⁴, Paul Richardson¹⁵, Rakesh Popat¹⁶, Douglas Sborov¹⁷, Shawn Hakim¹⁸, Boris Gorsh¹⁸, Joanna Opalinska¹⁸, Sagar Lonial¹

¹Winship Cancer Institute of Emory University Hospital, Atlanta, GA, USA, ²Abramson Cancer Center, University of Pennsylvania, Philadelphia, PA, USA, ³MD Anderson Cancer Center, Houston, TX, USA, ⁴University of Maryland School of Medicine, Baltimore, MD, USA, ⁵Indiana University Simon Cancer Center and Roudebush VAMC, Indianapolis, IN, USA, ⁶Carbone Cancer Center, University of Wisconsin, Madison, WI, USA, ⁷University of Kansas, Kansas City, KS, USA, ⁸Princess Margaret Cancer Centre, Toronto, ON, Canada, ⁹Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY, USA, ¹⁰Division of Medical Oncology, University of Washington, Seattle, WA, USA, ¹¹GSK K.K., Tokyo, Japan, ¹²George Washington University, Washington, DC, USA, ¹³Myeloma Service, Department of Medicine, Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, NY, USA, ¹⁴Universitätsklinikum Würzburg, Medizinische Klinik II, Würzburg, Germany, ¹⁵Dana Farber Cancer Institute, Boston, MA, USA, ¹⁶University College London Hospitals, NHS Foundation Trust, London, UK, ¹⁷Huntsman Cancer Institute, University of Utah, Salt Lake City, UT, USA, ¹⁸GSK, Upper Providence, PA, USA

P6-6 Teclistamab in combination with daratumumab and lenalidomide in patients with multiple myeloma (MajesTEC-2) (Encore)

Emma Searle¹, Hang Quach², Sandy W. Wong³, Luciano Costa⁴, Cyrille Hulin⁵, Wojciech Janowski⁶, Jesus Berdeja⁷, Sebastien Anguille⁸, Jeffrey Matous⁹, Cyrille Touzeau¹⁰, Anne-Sophie Michallet¹¹, Marla Husnik¹², Deeksha Vishwamitra¹², Zhuolu Niu¹³, Julie Larsen¹⁴, Lingling Chen¹⁵, Jenna D. Goldberg¹⁶, Rakesh Popat¹⁷, Andrew Spencer¹⁸

¹The Christie Hospital, University of Manchester, Manchester, United Kingdom, ²University of Melbourne, St. Vincent's Hospital, Melbourne, VIC, Australia, ³UCSF Helen Diller Family Comprehensive Cancer Center, San Francisco, CA, USA, ⁴University of Alabama at Birmingham, Birmingham, AL, USA, ⁵Hôpital Haut Leveque, University Hospital, Pessac, France, ⁶Calvary Mater Newcastle, Waratah, New South Wales, Australia, ⁷Sarah Cannon Research Institute, Nashville, TN, USA, ⁸Antwerp University Hospital, Edegem, Belgium, ⁹Colorado Blood Cancer Institute, Denver, CO, USA, ¹⁰University Hospital Hôtel-Dieu, Nantes, France, ¹¹Centre Hospitalier Lyon Sud, Hospices Civils, Pierre Bénite, France, ¹²Janssen Research & Development, San Diego, CA, USA, ¹³Janssen Research & Development, Shanghai, China, ¹⁴Janssen Research & Development, Los Angeles, CA, USA, ¹⁵Janssen Research & Development, Spring House, PA, USA, ¹⁶Janssen Research & Development, Raritan, NJ, USA, ¹⁷University College London Hospitals, NHS Foundation Trust, UK, ¹⁸Monash University, Melbourne, Australia

スポンサーセミナー 1 (Sponsored Seminar 1)

5月26日(金) 17:00-17:50 第1会場 (Room 1)

座長：鈴木 一史 (Kazuhito Suzuki) (東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科)

**SS1 がん患者に合併した COVID-19 患者への対応
How should we deal for the cancer patients complicated with COVID-19**

小林 治 (Osamu Kobayashi)

国立がん研究センター中央病院 感染症部

〈共催：グラクソ・スミスクライン株式会社〉

スポンサードセミナー 2 (Sponsored Seminar 2)

5月26日(金) 18:00-18:50 第1会場 (Room 1)

多発性骨髄腫と全身性ALアミロイドーシスにおけるCD38抗体薬 (Daratumumab) の位置づけ

Positioning of CD38 monoclonal antibody (Daratumumab) for the treatment of Multiple Myeloma and Systemic AL Amyloidosis

座長：石田 禎夫 (Tadao Ishida) (日本赤十字社医療センター 血液内科)

SS2-1 移植非適応未治療多発性骨髄腫に対するダラツムマブ含有治療の多角的ベネフィット Multifaced benefits with daratumumab-containing treatment for untreated transplant-ineligible multiple myeloma

黒田 純也 (Junya Kuroda)

京都府立医科大学大学院医学研究科 血液内科学

SS2-2 ALアミロイドーシスの治療戦略 Treatment strategy of AL amyloidosis

淵田 真一 (Shin-ichi Fuchida)

JCHO 京都鞍馬口医療センター 血液内科

〈共催：ヤンセンファーマ株式会社〉

スポンサードセミナー 3 (Sponsored Seminar 3)

5月27日(土) 10:25-11:15 第1会場 (Room 1)

多発性骨髄腫患者さんのWell-Beingについて

About the well-being of patients with multiple myeloma

座長：玉井 洋太郎 (Yotaro Tamai) (湘南鎌倉総合病院 血液内科)

SS3-1 心臓関連副作用のリスク評価と早期発見・介入を意識したカルフィルゾミブの使用経験 Experience with Safe Use of Carfilzomib through Risk Assessment, Early Detection, and Intervention of Cardiac-Related Adverse Events

木場 悠介 (Yusuke Koba)

兵庫県立尼崎総合医療センター 血液内科

SS3-2 カルフィルゾミブを上手に使いこなそう！ ～多発性骨髄腫患者のWell-Beingを求めて～ Making the best use of carfilzomib for the well-being of multiple myeloma patients

松本 守生 (Morio Matsumoto)

独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター

〈共催：小野薬品工業株式会社〉

スポンサードセミナー 4 (Sponsored Seminar 4)

5月27日(土) 10:25-11:15 第2会場 (Room 2)

座長：保仙 直毅 (Naoki Hosen) (大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学)

SS4 Chromosomal abnormalities in multiple myeloma: which ones to assess? With which technique?

Hervé Avet-Loiseau

IUC-ONCOPOLE, France

〈共催：アッヴィ合同会社〉

スポンサードセミナー 5 (Sponsored Seminar 5)

5月27日(土) 16:30-17:20 第1会場 (Room 1)

座長：黒田 純也 (Junya Kuroda) (京都府立医科大学大学院医学研究科 血液内科学)

SS5 多発性骨髄腫治療における CAR-T 細胞療法の現状と問題点 Current status and issues of CAR-T cell therapy for multiple myeloma in a routine practice

李 政樹 (Masaki Ri)^{1,2}

¹名古屋市立大学大学院医薬学総合研究院 血液・腫瘍内科学、²名古屋市立大学病院 輸血・細胞療法部

〈共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社〉

スポンサードセミナー 6 (Sponsored Seminar 6)

5月28日(日) 10:15-11:05 第1会場 (Room 1)

座長：安倍 正博 (Masahiro Abe) (社会医療法人川島病院 血液内科/徳島大学)

SS6 多発性骨髄腫に対する CAR-T 細胞療法の幕開け CAR T-cell therapy for multiple myeloma

吉原 哲 (Satoshi Yoshihara)

兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学

〈共催：ヤンセンファーマ株式会社〉

スポンサードセミナー 7 (Sponsored Seminar 7)

5月28日(日) 10:15-11:05 第2会場 (Room 2)

座長：柴山 浩彦 (Hirohiko Shibayama) (国立病院機構 大阪医療センター 血液内科)

SS7 臨床試験エビデンスからリアルワールドエビデンスへ Clinical Trial Evidence to Real-World Evidence

高桑 輝人 (Teruhito Takakuwa)

大阪公立大学大学院 医学研究科 血液腫瘍制御学

〈共催：武田薬品工業株式会社〉

モーニングセミナー 1 (Morning Seminar 1)

5月28日(日) 8:00-8:40 第1会場 (Room 1)

座長：関口 直宏 (Naohiro Sekiguchi) (国立病院機構 災害医療センター 総合診療部 血液内科)

MS1 LPL/WMの治療戦略-Bing Neel症候群を中心に -
**Treatment strategies for Lymphoplasmacytic Lymphoma/ Waldenström's
Macroglobulinemia -including our experiences treating Bing-Neel syndrome-**

佐分利 益穂 (Masuho Saburi)

大分県立病院 血液内科

〈共催：小野薬品工業株式会社〉

モーニングセミナー 2 (Morning Seminar 2)

5月28日(日) 8:00-8:40 第2会場 (Room 2)

座長：高松 博幸 (Hiroyuki Takamatsu) (金沢大学大学院融合研究域融合科学系)

MS2 抗CD38抗体薬(ダラツムマブ、イサツキシマブ)投与患者の治療効果判定：
HYDRASHIFTによるM蛋白同定検査

**Response evaluation on patients undergoing anti-CD38 therapy, Daratumumab and
Isatuximab, should be determined by the HYDRASHIFT assays**

三宅 一徳 (Kazunori Miyake)^{1,2}、海原 和巳¹、関田 綱基¹、上林 慧也¹、鈴木 暁¹、藤巻 立生明¹、
中山 耕之介¹、丸山 大³、阿部 仁¹

¹がん研究会有明病院 臨床検査センター、²順天堂大学医療科学部 臨床検査学科、

³がん研究会有明病院 血液腫瘍科

〈共催：SEBIA JAPAN株式会社〉

ランチョンセミナー 1 (Luncheon Seminar 1)

5月27日(土) 12:00-12:50 第1会場 (Room 1)

多発性骨髄腫の基礎と臨床から考える Daratumumab と IMiDs 併用の意義

The significance of the combination therapy of daratumumab and IMiDs for multiple myeloma from scientific and clinical aspects

座長：中世古 知昭 (Chiaki Nakaseko) (国際医療福祉大学医学部 血液内科学)

- LS1-1** 免疫治療薬の発展による骨髄腫の治療パラダイムの再形成
Reshaping a treatment paradigm in multiple myeloma with the development of immunotherapeutic modalities

原田 武志 (Takeshi Harada)

徳島大学大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学

- LS1-2** 実臨床における骨病変を有した移植非適応初発多発性骨髄腫に対する DRd 療法の有効性
Real-world experience of DRd regimen for transplant-ineligible newly diagnosed multiple myeloma

堀米 佑一 (Yuichi Horigome)

北里大学大学院医療系研究科 血液内科学

〈共催：ヤンセンファーマ株式会社〉

ランチョンセミナー 2 (Luncheon Seminar 2)

5月27日(土) 12:00-12:50 第2会場 (Room 2)

MM 治療シークエンスにおける PI 継続治療の役割

The positioning of PI continuation therapy in MM treatment sequence

座長：村上 博和 (Hirokazu Murakami) (群馬医療福祉大学 医療技術学部)

- LS2-1** 治療シークエンスを考慮した多発性骨髄腫治療戦略
—実臨床を踏まえた維持療法の意義—
Treatment strategy of MM considering the treatment sequence
-The significance of maintenance therapy-

鈴木 憲史 (Kenshi Suzuki)

日本赤十字社医療センター 骨髄腫・アミロイドーシスセンター

- LS2-2** 治療シークエンスを考慮した多発性骨髄腫治療戦略
-RRMM における PI 継続治療に関する最新知見 -
Multiple myeloma treatment strategy considering the treatment sequence
-Updates on PI continuous therapy in RRMM-

竹迫 直樹 (Naoki Takezako)

公益社団法人 練馬光が丘病院 血液内科

〈共催：武田薬品工業株式会社〉

ランチョンセミナー 3 (Luncheon Seminar 3)

5月28日(日) 12:15-13:05 第1会場 (Room 1)

サークリサの位置づけ ～基礎と実臨床から考察する～

Two years have passed since the Sarclisa® have launched-Considering the position of Sarclisa from the basic and clinical perspectives

座長：尾崎 修治 (Shuji Ozaki) (徳島県立中央病院 血液内科)

LS3-1 サークリサの位置づけ ～基礎と実臨床から考察する～

古川 雄祐 (Yusuke Furukawa)

帝京科学大学 医学教育センター / 自治医科大学 分子病態治療研究センター

LS3-2 サークリサの位置づけ ～基礎と実臨床から考察する～

池田 宇次 (Takashi Ikeda)

静岡県立静岡がんセンター 血液・幹細胞移植科

〈共催：サノフィ株式会社〉

ランチョンセミナー 4 (Luncheon Seminar 4)

5月28日(日) 12:15-13:05 第2会場 (Room 2)

座長：角南 一貴 (Kazutaka Sunami) (独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 血液内科 臨床研究部長)

LS4-1 腫瘍免疫微小環境からひも解く Immune-based therapy の価値 The clinical application of myeloma microenvironment evaluation

一井 倫子 (Michiko Ichii)

大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 助教

LS4-2 Immune-based Therapy 時代における骨髄腫治療シーケンスの考え方 - ポマリドミド強化抗体療法のパジショニングを含めて -

Multiple myeloma treatment sequence in the immune-based therapy era, including timing of pomalidomide-intensified antibody treatment

田村 秀人 (Hideto Tamura)

獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科 教授

〈共催：ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社〉